

令和3年度指導教諭による「授業力向上講座」⑦ & 一年間のまとめ

2月22日(火)に開催した本年度最後の「授業力向上講座」ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインでの実施となりました。今号では、その講座の様子を紹介します。

⑤2月22日(火) 一関市立南小学校 第2学年 算数 阿部 佐千子 先生(オンライン)

授業：「図をつかって考えよう」たし算とひき算

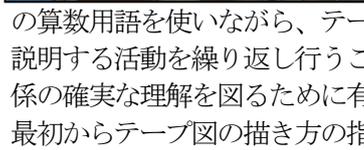
7人の指導教諭の皆さん、 授業提供ありがとうございました!

本年度の「授業力向上講座」では、日々の業務でお忙しい中、管内の7人の指導教諭の先生方に授業を提供していただきました。ありがとうございました。昨年度同様新型コロナウイルス感染症防止対策により、各講座ともに、人数を制限しての開催でしたが、のべ30人の先生方に参加いただきました。参加された先生方には、授業改善の視点、集団づくり、教材の捉え方等多くのことを学ぶ機会となったのではないかと思います。



1 授業参観(各校で映像視聴)

見直しにおいて、問題文に「のこりが」という言葉があってもひき算にならないことを確認し、本時の課題へつなげることで、子どもが目的意識をもって課題解決に向かうことができました。全体交流場面において「全体」と「部分」等の算数用語を使いながら、テープ図を使って立式の根拠を説明する活動を繰り返し行うことは、加法と減法の相互関係の確実な理解を図るために有効な手立てでした。単元の最初からテープ図の描き方の指導を続けることにより、どの子どももテープ図を使いながら立式したり、立式の根拠を説明したりすることができていました。単元全体の見直しをもって指導を行うことの大切さを改めて感じました。練習問題では、子ども一人一人にノートに書いたテープ図を使って考え方を説明させることで、学習状況の把握をしていました。さまざまな手立てにより、どの子どもにも「できる喜び」を十分に味わわせる授業展開でした。



日常実践での課題等を交流し合いながら、阿部先生から教材研究の進め方、テープ図等の学習方法の定着のさせ方等、多くのことを学び、指導のポイントを確認しました。

2 説明・協議(オンライン)

参加者の声(一部抜粋)

参加者の声(一部抜粋)

- ・ねらいや活動を絞って授業を焦点化させることは、低位の児童の理解を助け、全員が「分かった」と実感できる授業につながると思いました。
- ・とても素晴らしい授業で、真似したいことがいくつもありました。「楽しかった」「面白かった」と思える授業づくりを心掛けていきたいと思いました。

阿部先生の授業から学ぶ算数の授業のポイント!

- どの子にも「できる喜び」を味わわせるために、ねらいや活動を絞ったり、視覚的な理解を重視したりするとともに、学習状況の的確な把握と個に応じた支援を充実させること。
- 学習内容の確実な理解のために、算数用語を使って考えを説明させたり、まとめさせたりする活動を充実させること。



指導教諭の先生方から学ぶ授業づくりのポイント!

- いわての授業づくり3つの視点①「学習の見直し」、②「学習課題を解決するための学習活動」、③「学習の振り返り」の視点をもとにした授業展開であること。
- 十分な教材研究と、単元や本時で身に付けさせたい資質・能力を明確にしていること。
- 児童生徒主体の協働的な学習活動を中心とした授業展開であること。
- 温かい人間関係と学習規律を基盤とした学習集団(学級)づくりをしていること。



令和4年度も、指導教諭の皆様のご協力をいただきながら、下記のとおり「授業力アップ講座」として開設いたします。

- 日時：8月～2月。午後半日研修の予定
 - 場所：指導教諭が在籍している学校
 - 内容：授業公開・研究協議、講義・演習、実技講習等
- ※詳細は6月末に送付予定の実施要項を参照ください。

たくさんの先生方の参加をお待ちしております!